

## 家庭ごみ有料化に対する意見集約

## 1 家庭ごみ有料化の対象となるごみ区分についてご意見をお聞かせください。

- 有料化にするなら、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物など、全部行った方が良いのでは・・・と思います。
- 基本的に全て有料化にすべきと考えます。家庭ごみの減量は意識的な行動がなければ、スピードの上がった結果にはならないと思います。ごみの有料化は、ごみ減量の有効な手段だと思います。分別の徹底をどうするか？
- 家庭ごみ分別区分は、燃やせるゴミをはじめ8種類になっています。この区分のうち、資源として回収できるもの（資源物、プラスチック）は、当面無料で回収を進め、分別に対するインセンティブとすべきではないかと考えます。資源物、プラスチックの処理についても減量化すべきと考えられますので、分別が定着後、有料化を考えなければならぬと思います。
- 有料化の対象とするごみ区分は、  
可燃物（生ごみを含む燃やせるごみ）と、  
不燃物（燃やせないごみ）とすることに賛同する。
- 有料化対象の区分は燃やせるごみ、燃やせないごみの2分類でよいと思います。
- 最低でも資源ごみは無料とする事が望ましい。
- 再生不可のごみは有料化、資源物は無料で。
- 再生不可である燃やせるごみ、燃やせないごみを有料化するべきだと思います。排出量の多いそれらを有料化することで、ごみの量を減少させようと、分別を徹底するため、再生不可のごみを少なくできると思うからです。
- 札幌市での有料化の範囲と同等に、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」とします。  
⇒ 資源物など再利用可能なものについては無料とします。
- 出来るだけ区分を分かりやすくし、徹底した啓蒙をして下さい。
- 何よりもまず、ゴミという概念を見直す教育が必要。欧米、特に北欧やドイツなどから見ると明らかにゴミが多いのは、使い終わりが全てゴミといった昔の教育のままだから、苫小牧市からでも細かいリサイクル、リユースの教育をすべきだと思う。区分については、現状はこれでいいと思いますが、少しでも少なくなるような工夫が必要。

## 2 家庭ごみ有料化の手数料に関して、料金体系、手数料水準、収入用途等に対するご意見をお聞かせください。

- 料金体系は単純従量型  
手数料水準はリバウンド防止の観点から1リットル当たり3円程度  
⇒ 手数料水準が低い場合には経済的手法の意味が薄れると思われます。  
収入用途は新たなリサイクル事業投資、環境学習・環境活動の支援費、ゴミステーションなどの整備費や不法投棄対策費。
- 手数料水準は、道内先行他市例や近隣市町（千歳市、恵庭市、白老町）に沿い、1リットル当たり2円が相当。
- 一律容量単位で、全道平均並。
- ①料金体系については、単純明快であるべきと考えることから、単純従量制が良いものと判断します。②手数料水準は、他市のサービス、料金を参考に苫小牧市の廃棄物処理に要する費用を勘案し慎重に判断することが適切と考えます。③収入用途については、廃棄物に処理、処分に要する費用に使うべきと考えます。  
なお、収入によっては、廃棄物処理に関する広報活動や環境整備に使用することも考えられるのではないのでしょうか。
- 料金体系については制度のわかり易い単純従量制を採用し、手数料水準についてはごみ容量1リットル当たり2円のベースが望ましいと思います。
- 料金体系と手数料の徴収方法は、道内他市と同様でいいと思います。
- 有料化対象ごみ1リットル当たり2円ベースの予定ですが、他市と比べて同じくらいなので、2円でよいと思います。
- 料金については他の市を参考に設定（平均の下位に）。袋の容量は、現在の20ℓ、30ℓ、45ℓ+10ℓの4種類で。
- 市民の負担にならない料金の設定と他都市との比較検討を。収入については、ごみの減量等のために使用して下さい。
- 手数料は道内有料化市町村の最低料とし、3年毎に見直す。収入用途は、各町内会に分別コンテナの設置費用にしてほしい。
- 問題ありません。ただし、広報誌などで明確な収支を載せて、市民の理解を求めるべき。コンビニなどに捨てる人が増えるのが心配。他市がどうのこうのという比較に加え、独自のアイデアもあるべきだと思う。

### 3 家庭ごみ有料化に伴う併用施策について

#### (1)減免制度についてのご意見をお聞かせください。

- 公平性の面から減免制度は必要ないと思います。
- 以前に減免についての意見を述べさせていただきましたが、公平性の観点から考えて、減免対象をしなくても良いのではないかと最近思います。
- 罹災ごみは減免、他は不要。
- 減免制度については、種々考えられても良いとは思いますが、たとえば、乳児等のおむつへの制度がありますが、国の子供手当などの制度も拡充されつつあり、減免制度で業務が複雑化する事はのぞましくないと考えます。
- 紙おむつ使用対象者は減免対象（乳幼児 2 歳未満、高齢者/介護、障害者）。
- 紙おむつ利用世帯（3 歳未満乳幼児・要介護高齢者）に対する減免制度は良いと思う。生活保護受給世帯はのぞかれるべきだと思います。
- 減免対象を、紙おむつ使用者対策や、低所得者の経済的負担軽減対策として設定するほか、災害罹災にかかわる救援対策として、さらには、各種の団体等によるボランティア活動として公共場所などの清掃や、地域一斉清掃などについても設定をすべき。
- 体の不自由な方、紙おむつを必要とする家庭に数量を決めて無料とする。
- 札幌市と同様に、子育て支援や介護支援の観点から減免制度が必要と考えます。  
⇒ 苫小牧市在宅高齢者等・重度障害者（児）紙おむつサービス事業を受けている方、2 歳未満の乳幼児がいる世帯
- 制度の利用のしかたを市民に出来るだけ知らしてほしい。
- 他の市町村の実例をもとに実施してみる必要があると思う。民生委員の意見も聞いてはどうか。本当に必要な人を見極めた方がいいと思う。

#### (2)生ごみ減量化の推進についてのご意見をお聞かせください。

- 生ごみ量は、苫小牧市の家庭ごみのうち約 40%を占めており、その処理が家庭で進められることで、廃棄物の減量に果たす効果は大きいものがあると考えられます。電動生ごみ処理機であれば、集合住宅などでも使用できると考えますので、その効果を確認し、結果が良ければ PR するなど、普及させることも検討すべきと考えます。
- コンポスト化がなかなかここに浸透しない現状を調査すべき。  
（実践経験は全くないが）生ごみの分別、水切りの徹底啓発や、さらには、家庭用電動生ごみ処理機の導入促進のため、補助金額を見直しも含め、生ごみ減量効果対策を有料化併用施策として設定されたいが。
- 今後も助成を続けていくべきだと思います。それと同時に、市民の方々にもっとコンポストなどについて知ってもらう必要があると思います。

- 生ごみ減量化へ現在の助成は必要と考えます。しかし、「電動式生ごみ処理機」の助成実績が低いので、上限の引き上げ（2万円）ではどうか。ごみ排出量の多い世代（40代）に対してのアピールが必要。
- 生ごみを堆肥化する事業の推進。
- コンポストを必要としない人も多いので（肥料として使うことがない）、少しでも減らす工夫をもっとPRすべき。
- 生ごみ堆肥化容器に関して、生ごみ堆肥化容器は肥料としての利用目的が多いが、時間がかかり、管理上にも問題が多い点から、今後利用が増えるとは思われない。
- 良く分かりません。
- 市民意識の向上、再利用の徹底を図る事。
- 生ごみの堆肥化は環境経営の観点からは重要と考えています。提案としては、苫小牧市が生ごみ堆肥化事業を実施し、市民から提供された生ごみを堆肥にし、生ごみ提供者に対して低価格で販売するか、外部の購入希望者に低価格で販売をする経済的な循環システムを確立することを望んでいます。
  - ⇒ 戸建の個人が行うのは一定の効果があるかもしれませんが、環境面・衛生面から新たな問題が発生すると考えられます。

### (3) 集団回収事業についてのご意見をお聞かせください。

- 集団回収事業の拡充が望ましいが、奨励金の増額は必要ないと思います（資源を必要とする事業所が積極的に利用するように指導する）。
- 奨励金の他に、何か方法を考える必要があると思います。
- 現状からも指定回収物以外の混在排出や、市の資源物との混同も多く、町内会担当者や収集事業者を困らせる状況の増加が懸念されることから、回収事業を進める側の各団体にも対策が必要になってこよう。
- 集団回収は有効なゴミ減量化と資源回収の手段となっていると考えます。回収する側よりも出す側（家庭）に積極的な情報提供と促進策が必要と思います。
- 市内の各町内会やスポーツ団体・学校などに対して資源回収団体奨励金によって、紙（新聞紙など）や資源物（ビン・缶など）を積極的に回収する動機づけを付与することを望みます。
- 意識の向上と奨励金の制度を広く知らしめる事。
- 過去経験したが、継続は難しかった。どれほどの効果があるのか、疑問を持つ。
- 資源の集団回収は、住民にとって時期などが分かりにくいことが欠点であると思われます。定期性があれば、住民も安心して集団回収を待つことができるため、廃棄物になる量が減少するのではないかと考えます。また、行政にとっても廃棄物回収のた

めの費用が不要となるメリットがあるので、一部補助の制度を拡充することも必要と考えます。

- 民間業者の参入で、以前に比べて早くてきれいな作業になった。対応もすごく良い。作業される方は大変でしょうが、大ステーションよりも小規模の方が出しやすく、また、汚くならなくて良い。

#### (4)大型ごみ処理手数料についてのご意見をお聞かせください。

- 収集・直接搬入ともに現行の手数料でよいと思う。
- 大型処理手数料は、現状のままでいいと思います。
- 従来どおりでよいと考えます。事前予約した上で 500 円相当のシールを貼るか、直接沼ノ端クリーンセンターに持ち込んで従量に応じた金額を支払うというものです。
- 大型ごみの収集については、苫小牧市のサービスが他都市に比べ劣っている状況ではないと判断します。現在のサービスを維持することができるのであれば好ましいと考えます。
- 苫小牧市の 1 点 500 円でなく、札幌市のように段階的にアップさせることが望ましい。
- 大型ごみ処理手数料の適正料金は不明ですが、品目ごとに「重さ」「長さ」などで料金設定が必要。
- 1 点当たり 500 円という現行の手数料設定には適正さを感じられない。重量・形状(固形かバルクか)、総点数、品目等のどれかを基準に手数料の段階設定があるべきでは。
- 苫小牧は、今、大型ごみが 500 円ですが、他市より、第 5 回審議会資料 1 表Ⅲ-6 で見ると、高いように思われます。1 点につき 500 円じゃなく、札幌、旭川みたく、品目ごとに金額を変えてもいいのかとも思います。
- 私は十分やすいと思いますが、マナーの悪い人が多く見受けられる。ステーションに明記して、購入、電話の徹底をすべき。
- 処理手数料の引き上げについては、十分なる配慮を！不法投棄につながらないように対処して。

#### (5)紙類の資源化についてのご意見をお聞かせください。

- 確かな分類とし、徹底して行ってほしい。
- 主要古紙に加え、雑紙の資源化はごみ減量となり、市民の負担軽減が図れると思う。
- 現状の主要古紙(新聞、雑誌、段ボール、紙パック)により集団回収活動を奨励すべき。紙類の更なる資源化については異議を持たないが、現状の集団回収での煩雑さがさらに増えることに懸念を持つ。

- 家庭から排出される紙類の分別収集は必要と考える。集団回収を原則として実施。民営の資源化ルートを検討。
- ここで提起されている紙類の内容が資源物ならば積極的な回収および再利用が望ましいと考えます。
- 道内の他市でごみの減量化に大きな実績をあげている地域もあるため、雑紙も含めて分別収集を実施し、資源化を進めていく必要があると思います。
- 民営回収業者で。
- 特に苫小牧は製紙業のまち、紙のリサイクルは当たり前だと思う。他市はよく知りませんが、割と町内会レベル等での回収はされていると思う。
- 燃やせるゴミのうち、紙類は約35%を占めています。廃棄物の減量化を進めるためには、この比率を下げる必要があると考えます。現在、多くのスーパーなどでは、サミット袋を有料化しその量の抑制を図っていますが、反対にダンボール箱が自由に配布され、それが廃棄物化してるように見受けられます。資源として回収されるよう、対策をはかる必要があります。
- 資源化は望ましいが、現在実施している札幌市などを詳細に調査する必要があると思う（相当な人件費をかけているようです）。むしろ市民に人件費をかけなくて済む分別の指導を時間をかけて周知することが必要です。

#### 4 家庭ごみ有料化の実施に向けての市民参加のあり方や市民周知の方法等についてのご意見をお聞かせください。

- 市民参加の説明及び意見収集は、現在進めている形態で良いと思うが、苫小牧全世帯の何割の世帯数に参加してもらうのかで、目標設定して取り組む。  
周知方法について・・・各職場、町内会、学校、サークルなどの団体を通じて周知
- 道内先行市においても様々な方法を駆使し市民啓発を進めていることから、先行市事例を参考に併用施策と併せ周知に努められたい。
- 広報紙、新聞等の広報媒体の活用と住民説明会等を通じ、市民の理解を深める必要があると思います。
- 町内会の活用を！広報は全て利用してください。
- まちかどミーティング等で、有料化の必要性を訴え市民の理解を得る事。
- 時間はかかりますが、町内会での説明会を徹底してすることで、市民理解は深まると思います。
- わかり易い資料で説明さえすれば、おおむね納得してくれると思う。ルールを無視する人もしばらくは出ると思うが、時には個別指導、町内会単位での協力などで徐々に解決すればいい。どんないいことでも全員が理解・納得するには時間が必要。2年ほ

ど有料化を引き伸ばしたと思いますが、おかげである程度、市民は理解したのではないかと。

- 住民説明会の度重なる実施を期待しています。徹底的に説明会を行ってください。苫小牧市役所職員総出で臨んでください。数度のタウンミーティングでお茶を濁さないようにお願いします。
- この審議委員会がもっと意見を出し合い議論した末で、それを踏まえた決定であることを常に市民に知らせることが必要です。
- 市民へのごみ減量・リサイクルの意識啓発・周知の行動として、町内会婦人部の協力をえてはどうか。
- 有料化に向けては、広報活動を十分に行い、議論を尽くし多くの市民が賛同できるようにすることが必要と考えます。他都市の状況や有料化のメリットを良く分かってもらい必要があるでしょう。有料化しなければ、市民が損をすることを分かってもらい必要があると考えます。そのための PR が現在のところ不足しているのではないのでしょうか。
- パブリックコメントをしても参加人数が少なく、市民の関心がうすいように思われる。

## 5 家庭ごみを有料化する際に懸念される各種課題に対するご意見をお聞かせください。

- 有料化により、不法投棄の増加が懸念されるが、監視パトロール強化の対策が必要と思います。
- 不法投棄の取締、強化すること、処罰を告知する。
- ごみ有料化により不法投棄の増加
  - － 条例による罰則
  - 初期の段階では分別指導が必要
    - － ごみパト隊
- もし、ごみ有料化した場合に指定ごみ袋以外のごみ収集はどうなるのか。また、不燃ごみ等の不法投棄（川岸への投げ捨て）が懸念される。
- 不法投棄の件数が増えないように十分なる注意が必要です。市民に有料化に対する意識の向上を訴えていく事。
- 有料化を無視して廃棄物をステーションに放置することが懸念されます。それに対して、行政がどのような方針で臨むのか明らかにしておく必要があると考えます。有料化に伴い、不法投棄が増加する懸念に対しては、過去の例からあまり多くはないと検証されていますが、最初は混乱が予想されます。現在は無料のため、他地域の廃棄物が、持ち込まれても大きな問題とはなっていませんが、有料化に伴い車の多い苫小牧市では、不法投棄はし易い環境にはあると思われれます。特に幹線沿いにあるステーションをどのように管理するか、検討が必要かとも思います。

- 意識的な問題として、金で解決するのであれば、資源ごみに、可燃ごみ・不燃ごみが混入されるのではないか。
- 特に問題が出る地域にはある程度指導すべき。「お金を払いたくない」人たちなのか、「面倒くさがる」人たちなのか、やってみないとわからないと思う。なぜ有料化するのか、少しでも回収するゴミの量を減らすという目的を明確にすれば、理解してくれる人も増えるはず。
- 分別収集の問題として、集合住宅の分別意識が低いと言われているが、住宅事情によりどこまで分別が可能なのか意見収集してはどうか。
- ごみ出しマナーを厳格に指導すること。最後は戸別回収となる可能性あり。
- リバウンドは生じると思いますが、併用して様々な施策を強化することで、リバウンドを抑えることができると思います。
- 苫小牧市において従来より（現時点で）実施している「053（ゼロゴミ）」の効果が徐々に現れつつある状況のなかで、本課題である家庭ごみ有料化を導入した場合、各町内会で積極的にごみ問題に関与していただいていた多くの方々の失望を招く恐れを危惧します。

苫小牧市役所として熱心に個別説明・広報を果たさなければ、ごみ問題に対する市民・住民の意識の低下が予想されますので、十分に注意を払っていただきたいと考えます。

また、家庭ごみの有料化に際して、手数料の料金設定が低い場合には、時間の経過とともに市民・住民側において慣習的な行為との錯覚が生じてごみ問題に対する関心が薄くなり、むしろコスト負担者としての権利を強く主張することも予想されます。要するに、ごみ排出量の減量化という目的に対して、家庭ごみ有料化は一つの手段であるという現実留意してもらいたいと考えます。

- 当然有料としない排出物（例：資源物や集団回収）への混在排出や不法投棄など様々な課題が想定される。また、懸念されるかどうかは別にして、有料化にあたっては、
  - ①市民に向け、理解や協力を得るためのスキームの明確化、開示、提示
  - ②不適正排出に対する防止対策、町内会への要請
  - ③安易な“ポイ捨て”から、多量な不法投棄、不適正排出などの防止対策、関係団体への協力要請
  - ④ごみ減量・資源リサイクル行政透明化への積極的な取り組み、姿勢のPR
  - ⑤有料化の住民合意形成の判断基準の明確化、開示
  - ⑥有料化手数料の用途、併用施策の提示、等々想定される課題は多いと思う。



## 6 事業系ごみを減量するための対策等についてご意見をお聞かせください。

- 現状施策のさらなる徹底を図り事業系のごみ減量を進めていただきたい。
- 市内各事業所に事業系ごみを減量する協力を要請する。
- 事業系ごみは、計画書を各事業所に提出してもらうことで減量していくと思います。
- 事業所単位での目標管理が有効化と思います。減量計画書の提出及び報告の実施。
- 私は建設業を営んでいますが、細かく分別するのが当たり前になっています。他業種はよく知りませんが、ゴミは減っていると思います（金がかかるという理由もあります）。  
ペーパーレス時代といっても相変わらず、役所提出の書類は多く、試し印刷、失敗印刷などもあり、根本的なペーパーレスの問題があると思う。
- 過大な包装や再利用できる物はなるべく利用し、減量に対する意識の向上をはかる。
- 事業系廃棄物に関しては、種々対策を講じていることと思うが、一層の分別を進める以外に方策が無いと考える。事業系についても、受入れ時に資源物とそうでないものの単価に差を付けるなど、インセンティブが働くような方策を検討しても良いのではないかと考える。
- 家庭ごみの有料化によって、買物行動や消費行動に何らかの変化をもたらすと言われているが、消費行動には限度がある。生産過程での発生抑制が必要ではないか。
- 最近の事業系ごみの排出量については資料を見る限り横ばいの状況のようです。平成20年度の処理手数料が100kgあたり450円だったものが、翌平成21年度には800円に改定されていますが、ごみ排出量は微増しています。おそらく料金設定のインセンティブがなかったことから平成22年度から再度1,100円に料金改定したと考えています。この効果が数値的にどのように現れているかに興味があります。経済的なインセンティブが作用していると予想されます。  
また、事業系ごみ減量対策の一つの方法として、統計的にある一定数量を排出している事業者を公表し、当該事業者には排出数量の目標値と結果としての実績値の届出をさせる方法を提案いたします。

## 7 家庭ごみ有料化についての全般的な事項、あるいは、その他、ごみ行政全般や今後の審議会の進め方についてなど、項目は問いませんので、何かございましたら、ご意見をお聞かせください。

- 分別を進めると回収費用が高額となることが予想される。また、家庭では、廃棄物の保管期間が長くなるというデメリットがある。回収に当たる車両の改良により、一度に種々の廃棄物が回収できるようになれば、家庭へのサービス水準も向上し、分別もしやすいと思われる。

- 市民の目線と市の財政と社会の動向を踏まえた審議会の意見を出していきたい。
- 有料化による不法投棄を未然に防ぐ努力。
- これまで、ごみ減量キャンペーンを取り組んできたが、市民のごみ減量・リサイクルの意識はまだまだ低く有料化だけでは解決できない。
- 廃プラ・紙等の分別収集を行ったときに、可燃ごみがどれくらい減量になるのか。有料化は減量の推移を見てはどうか。
- もし、ごみ有料化した場合、減量の目標値を設定し、目標を達成したら有料化はやめる。市民全体でごみ減量の意識を共有する。
- 今、環境破壊が叫ばれているなかで、有料化より、市民の意識の中に、ごみの減量・資源化等を徹底されるのが優先ではないか。有料化が最善の策だとは思えない。
- 12月議会で、答申書の提出に期限は無いとの答弁でしたが、年度を跨いでの審議会開催はあり得るのか。年度を跨ぐ場合、審議委員を交代して協議するのか。
- 欠席ばかりで大変申し訳なく思います。しかし、平日昼間の会議に参加しにくいのは事実です。会議録の内容は理解できますが、要約した議事録にさせていただくと内容がわかりやすいと思います。今後、ゼロごみのまちとして、小学生からの教育をこの苫小牧からどのまちにもさきがけて行ってはいかがでしょうか。